

「学ぶ保育士等応援事業補助金」について



令和6年度から開始した「学ぶ保育士等応援事業補助金」は、初年度に県内の7割以上の施設で園内研修が実施され、今年度も引き続き多くの園で活用が進むなど、好調に取り組んでいただいております。園内研修の実施をきっかけに、保育者同士が学び合い、日々の実践を振り返る機会がさらに広がることを願っています。子どもたちにとってより良い環境づくりの一助となりますよう、引き続き本補助金をご活用ください。

(担当：出口)

キャリアアップ研修修了証の再交付方法について

よくあるお問い合わせをまとめ、別添ファイルで送付しましたので、ご一読ください。申請様式は県ホームページに掲載しています。

(リンク先) [処遇改善等加算\(区分3\)に係る研修\(保育士等キャリアアップ研修、実施機関の指定、実施主体の認定など\)](#) | 長崎県

(担当：福井)

時代とともに変わる教育

次期学習指導要領、3要領・指針の改訂に向けて議論が進んでいます。

今の段階で出ている「次期学習指導要領に向けた基本的な考え方」として以下のキーワードが挙がっています。



自らの人生を舵取りすることができる民主的で持続可能な社会の創り手の育成



「好き」を育み、「得意」を伸ばす
(興味・関心)



当事者意識を持って、自分の意見を形成し、対話と合意ができる

“「好き」を育み、「得意」を伸ばす”

このキーワードは、環境を通して行う教育を基本とする幼児教育のこれまでの考え方とぴったりです。これが小学校以上でも大切にされるようになり、画一的な一斉教育重視からの脱却が期待されます。

これから、幼児教育に求められてくるのは、「言葉を用いて思考を深めていく指導」と「他者と関わり協同する力の育成」です。

もうすぐ、令和7年度が終わり、新しい年度が始まります。この時期に、令和8年度の方向性を職員みんな考えていかれてはどうでしょう。

これまでの保育を振り返り、今の時代に求められている保育に合っているか、また、自園の子どもの良さと課題を見つめ、どんな保育をしていったらよいか。トップダウンではなく、一人一人が園をつくっていく存在として自覚をもって話し合うことが、子どもにとって保護者にとっても、働く職員にとってもよりよい園になっていくのではないのでしょうか。

“当事者意識を持って、自分の意見を形成し、対話と合意ができる”

大人になっても必要な力です。

(センター長 室野)